

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑ 取り組んでいきたい項目

| 項目               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------|--|-------|----------------------------------|
| <b>・理念に基づく運営</b> |  |       |                                  |
| 1. 理念と共有         |  |       |                                  |
| 1                | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている  |       |                                  |
|                  | 法人の基本理念は、「高齢者の第二の人生の拠り所として日常生活がおくれるように職員は(知識・技術・心)を提供できるよう努める。」更にグループホームの運営方針として「安心・安全・穏やか」をモットーに地域に愛される施設作りを行なっている。 |       |                                  |
| 2                | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる   |       |                                  |
|                  | 理念については、職員会議や朝礼で繰り返し話し合いをしており、更に施設内研修でも講義するなどして全ての職員に理念が浸透するように努めている。  |       |                                  |
| 3                | 家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる   |       |                                  |
|                  | 運営推進会議の際に地域代表として地元町内会の区長や、利用者家族をを招き、グループホーム運営に御理解を頂けるよう説明を行なっている。  |       |                                  |
| 2. 地域との支えあい      |  |       |                                  |
| 4                | 隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている   |       |                                  |
|                  | グループホームの諸行事に地域の方々を招待している。普段から地域の人々の来訪も多く、安定した交流の場にもなっている。  |       |                                  |
| 5                | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている   |       | 今後地域ボランティアの育成に努め、共存できる体制を作りたい。   |
|                  | 地元の町内会に所属しており、敬老会などの行事にも参加している。地域の奉仕活動にも積極的に参加しており、地域に密着しながら共存していけるよう努めている。  |       |                                  |

| 項目                    |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ( 印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 6                     | 事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる                  | デイサービスセンターを併設しており、在宅福祉部門についても地域に貢献している。利用相談や申し込みの際、懇切丁寧に説明し、地域福祉の中核施設として努力している。 |      |                                  |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |  |   |      |                                  |
| 7                     | 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                           | 外部評価の結果を閲覧して頂き、現在の評価を公開している。改善項目等があれば、謙虚に受け止め、臨機応変に対応し、職員全体で改善に向けた取り組みをしている。    |      |                                  |
| 8                     | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている           | 会議の際、外部評価の結果、事業報告等を議題にしており、活発な意見交換を行い、サービスの質的向上を目指している。                         |      |                                  |
| 9                     | 市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                            | 保健福祉計画の策定に伴う懇談会の一員でもあり、定期的に市町村と意見交換ができる環境にある。普段から定期的に交流する機会もあり、密接な関係を維持している。    |      |                                  |
| 10                    | 権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 地域福祉権利擁護事業や成年後見制度等に関する研修には積極的に参加しており、施設内研修の際に、職員に説明している。                        |      |                                  |
| 11                    | 虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている            | 高齢者虐待防止に関する研修等にも積極的に参加しており、具体的な事例を示し、福祉に携わる人間としてどのように行動すべきか十分に理解できる職場環境を創出している。 |      |                                  |

| 項目             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|--|---|----------------------------------|
| 4.理念を实践するための体制 |  |   |                                  |
| 12             | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>                                 | <p>医療現場におけるインフォームドコンセントと同様に十分な説明と理解を常々心がけている。</p>                         |                                  |
| 13             | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                | <p>利用者及びご家族には日頃から自由な意見交換ができる環境を整えている。実現可能な意見に対しては直ちに実行できる体制作りを心がけている。</p> |                                  |
| 14             | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>                              | <p>ミニ広報誌「富士見苑新聞」すこやかを毎月発行しており、月別金銭出納結果も合わせて送付している。</p>                    |                                  |
| 15             | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                | <p>面会の際に、近況説明をしながら御家族の意見や要望を承るように心がけている。</p>                              |                                  |
| 16             | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>  | <p>グループホーム会議や職員全体会議を定例で開催しており、更に必要に応じミニカンファレンスを通じて意見の聴取に努めている。</p>        |                                  |
| 17             | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>                      | <p>職員体制を常に充足させ、役職者でも現場の応援ができる体制にある。臨機応変、適材適所を心がけている。</p>                  |                                  |
| 18             | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>認知症高齢者には環境の変化が少ないほど安心した日常生活がおくれる。馴染みの関係作りに日々努めている。</p>                 |                                  |

| 項目                               |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ( 印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)      |
|----------------------------------|--|---|------|---------------------------------------|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |  |   |      |                                       |
| 19                               | 職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている           | OJTや施設内研修などで人材育成に取り組んでいる。個人ファイルにて職員の特性に合わせた学習ができるように工夫している。               |      | 外部研修にも積極的に参加し、研修報告会を実施して、その効果を倍増させたい。 |
| 20                               | 同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム連絡会はいまだ設立されていないが、地域のネットワーク作りには積極的に参加している。イベント等での交流は毎年行なっている。       |      |                                       |
| 21                               | 職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | 職員親睦会を定期的に行い、ストレスの発散ができる環境を整えている。日常業務の中でも、ストレスの溜まらないよう息抜きをしている。           |      |                                       |
| 22                               | 向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                        | やる気の充分な職員には小グループのリーダーを任せるなど中堅職員に育て上げる努力をしている。                             |      |                                       |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |  |   |      |                                       |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |  |   |      |                                       |
| 23                               | 初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている             | 利用相談の際に、傾聴の姿勢で接し、内容を吟味して適切なアドバイスができるようにしている。                              |      |                                       |
| 24                               | 初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | 御家族の心情を思い遣り、真心の通じ合う会話を心がけている。信頼関係は其中で自然に醸成される。声無き声を聴き、打ち解けあえる雰囲気作りに努めている。 |      |                                       |

| 項目                        |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                           | ( 印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 25                        | 初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                                 | 現在の状況を適切に把握して、今一番急務な事を見だし、可能な限り応援できる体制をとっている。             |      |                                  |
| 26                        | 馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 体験入所制度の利用や本人見学などでグループホームの雰囲気に慣れて頂き、十分な同意を得てからサービスの提供が始まる。 |      |                                  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 |   |   |      |                                  |
| 27                        | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                         | 残存機能の維持、開発に努め、日常業務中でのお手伝いなどで本人参加型の施設運営を心がけている。            |      |                                  |
| 28                        | 本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている                                   | 利用者の要望を御家族と相談しながら解決し、ここ「富士見苑」に来て本当に良かったと思って頂ける環境作りに努めている。 |      |                                  |
| 29                        | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している                                       | 本人と御家族の双方から情報を入手し、適切な援助が行なえるように努力している。                    |      |                                  |
| 30                        | 馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている   | 面会は時間を守っていただければ常に自由であり、外出や外泊を奨励している。                      |      |                                  |
| 31                        | 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている  | 共に生活して助け合っている事が自覚できるような援助を心がけており、庇い合うお隣さんの雰囲気作りに努めている。    |      |                                  |

| 項目                                |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                    | ( 印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|--|--|------|----------------------------------|
| 32                                | 関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている                      | 管理者や介護職員との強固な信頼関係をもとにいつでも相談できる体制作りにも努めている。                         |      |                                  |
| <b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |  |  |      |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                       |  |  |      |                                  |
| 33                                | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 利用者の心の声を感じ、ADLに応じた最適な介護計画を立案して日々その実践に努めている。                        |      |                                  |
| 34                                | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 生活歴の把握には、本人や御家族以外でも可能な限り聴取に努めており、継続した人生の実現に努めている。                  |      |                                  |
| 35                                | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 日常生活の中で日々変化する本人状況に臨機応変に対応できる職員教育を実践している。心は常にマン・ツー・マンである。           |      |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し    |  |  |      |                                  |
| 36                                | チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | ケアプランの作成に当たっては身近に接している介護職員の意見を尊重し、ケアマネージャーとの情報交換を密にする体制作りにも心がけている。 |      |                                  |
| 37                                | 現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 適時、適切な見直しを実施している。ミニカンファレンスを毎日行なうことで最新の情報を共有している。                   |      |                                  |

| 項目                          |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)              |
|-----------------------------|---|--|-----|---|
| 38                          | 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | ケース記録や申し送りノートを活用して職員全体での情報共有に努めている。  |     |   |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援           |   |  |     |   |
| 39                          | 事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | デイサービスセンターを併設しているので、入浴施設やレクリエーション機器などを共有している。                                |     |   |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |   |  |     |   |
| 40                          | 地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | 地元の警察や消防などとは、密接に連携している。民生委員やボランティアなども定期的に訪問してくれている。                          |     | 近隣の小学校等に働きかけ、ボランティア体験や職場体験などを通して高齢者福祉の理解に努める。 |
| 41                          | 他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | 定期的に他事業所のケアマネなどと懇談している。サービス担当者会議などでも会場を提供し、情報交換に努めている。                       |     |   |
| 42                          | 地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 富津市地域包括支援センターとは、定期的に連絡を取り合っている。  |     |   |
| 43                          | かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 毎月田中ハートクリニックの先生に往診を受けており、できる限りグループホームでの生活が継続していけるよう協力頂いており、ターミナルケアも視野にいれている。 |     |   |

| 項目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                            | ( 印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|--|------|----------------------------------|
| 44 | 認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している  | かかりつけ医と情報を共有して、適切な投薬体制の確立に努めている。認知症に対する対応なども気軽に相談できる体制である。 |      |                                  |
| 45 | 看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている   | 併設のデイサービスセンターの看護師と協力して利用者全員の健康管理に努めている。                    |      |                                  |
| 46 | 早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している                      | 君津中央病院大佐和分院の院長や看護師長などとの交流を密にしており、早期退院に向けた協働体制を備えている。       |      |                                  |
| 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している                                   | 現在も癌末期の利用者を援助している。御家族・医療機関・施設の三者は情報を共有している。                |      |                                  |
| 48 | 重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 住み慣れた環境でターミナルを迎える事は個人の尊厳確保にもつながりチーム全体で支え合う体制作りを心がけている。     |      |                                  |
| 49 | 住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                      | 住み替え時には先方の職員や看護師などと綿密な打ち合わせを行い、環境変化によるダメージが最少になるように心がけている。 |      |                                  |



| 項目                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ( 印)  | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|----------------------------------|
| <b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |   |   |                                  |
| 1. その人らしい暮らしの支援               |   |   |                                  |
| (1) 一人ひとりの尊重                  |   |   |                                  |
| 50                            | プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                     | プライバシーの確保には細心の注意をはらっている。個人情報の保護も徹底している。                     |                                  |
| 51                            | 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 日常生活の中で自分の意志を発言できる環境を整えている。レクリエーションなども自己決定している。             |                                  |
| 52                            | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している      | 外出や買い物など希望に応じた対応をしている。必要であればマン・ツー・マン対応で援助している。              |                                  |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |   |   |                                  |
| 53                            | 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                  | お化粧品など、自分が使い慣れた物を代理購入したり、近隣の美容院の協力を得て、パーマや毛染めも可能である。        |                                  |
| 54                            | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている           | 食事作成の際、準備から手伝って頂ける利用者もあり、配膳、下膳、洗い物なども自主的に職員の応援をして頂ける方は更に多い。 |                                  |
| 55                            | 本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している                  | 嗜好調査を参考に献立を作成している。好き嫌いに対応した個別メニューにも対応可能である。                 |                                  |

| 項目                            |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ( 印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 56                            | <p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>        | <p>食事終了後のトイレ誘導や随時の排泄介助によって自立支援を行なっている。職員全員が利用者の尊厳を確保するよう施設内研修などで教育している。</p> |      |                                  |
| 57                            | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>    | <p>入浴介助に関しては、利用者の希望を尊重し、マン・ツー・マン体制で援助している。</p>                              |      |                                  |
| 58                            | <p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>                     | <p>毎日パジャマに着替え、1年を通して快適な室温を維持し、安眠できるように努力している。</p>                           |      |                                  |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |  |   |      |                                  |
| 59                            | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>  | <p>レクリエーションの際、認知症状の程度に合わせて役割分担を行なっている。それぞれの分担に応じ、活発な余暇支援が実現できている。</p>       |      |                                  |
| 60                            | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>  | <p>個人では所持していないが、個別のお小遣いケースがあり、利用者家族や本人に定期的に残高を知らせている。買い物の際は個別に出納している。</p>   |      |                                  |
| 61                            | <p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                    | <p>外出は基本的に自由行動であり、付き添いが必要な利用者については同行している。</p>                               |      |                                  |
| 62                            | <p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p> | <p>毎月の行事として、ドライブを行なっている。季節を感じる場所への外出も臨機応変に対応している。</p>                       |      |                                  |

| 項目              |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                     | ( 印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|---|------|----------------------------------|
| 63              | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 事業所の電話を利用し、コミュニケーションを欠かさないように支援している。手紙についても、切手の購入、ポストへの投函などを代行している。 |      |                                  |
| 64              | 家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 面会簿を活用し、訪問依頼するなど、気軽に訪問できる雰囲気を作っている。                                 |      |                                  |
| (4) 安心と安全を支える支援 |  |   |      |                                  |
| 65              | 身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 施設内研修で徹底されているので、身体拘束や身体拘束的ケアはありえない。                                 |      |                                  |
| 66              | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | 居室に鍵は存在しない。夜勤帯以外、出入り口の施錠はありえない。                                     |      |                                  |
| 67              | 利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | 職員の連携により、利用者全員の所在確認が常に行なわれている。                                      |      |                                  |
| 68              | 注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | 注意の必要な物品については安全な場所で保管しているが必要に応じて手渡し活用している(包丁・はさみ等)                  |      |                                  |
| 69              | 事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | 介護マニュアルを参考に、緊急時対応要領なども施設内研修で周知させている。                                |      |                                  |

| 項目                        |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ( 印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 70                        | 急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                 | 施設内研修において事故発生時の対応要領を周知させている。救急法上級者から応急手当の手ほどきを受けている。                         |      |                                  |
| 71                        | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている   | 定期的に防災避難訓練を実施している。利用者全員が避難場所を知っている。地元消防とも適切に連携している。                          |      |                                  |
| 72                        | リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | リスクマネジメントについても施設内研修等で職員に周知させている。ミニカンファレンスを通して利用者の細かい変化を見逃さず、適時、適切に支援している。    |      |                                  |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |   |  |      |                                  |
| 73                        | 体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | 申し送りノートを活用し、各勤務職員が情報を共有できているので、細かい変化も細大漏らさず報告されている。必要に応じ通院、往診等の措置を迅速に行なっている。 |      |                                  |
| 74                        | 服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | 薬ノートを活用し、最新の投薬状況を職員全員が把握している。薬は協力薬局に依頼して、各一包化されており、間違いは無い。                   |      |                                  |
| 75                        | 便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる         | 毎朝食に牛乳とバナナを365日提供している。寒天やゼリーの手作りおやつを作成して便秘予防に取り組んでいる。                        |      |                                  |
| 76                        | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                   | 口腔清潔タイムをもうけうがいや入れ歯の手入れをしている。夜間には入れ歯を預かり、ポリデント消毒を毎日行なっている。                    |      |                                  |

| 項目                      |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ( 印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 77                      | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 食事水分摂取量チェックを行い、申し送りを行なっている。又、栄養補助食品も完備しており、栄養バランスの保持に努めている。               |      |                                  |
| 78                      | 感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）   | 感染症予防対策の施設内研修を行なっている。職員検便も確実に実施している。手洗いやうがいを励行すると共に、必要に応じプラスチック手袋を活用している。 |      |                                  |
| 79                      | 食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | 厨房内清掃チェック表を作成し、厨房内の清潔、整理整頓に努めている。食器や厨房器具などはオゾン殺菌処理して使用している。               |      |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |  |   |      |                                  |
| (1) 居心地のよい環境づくり         |  |   |      |                                  |
| 80                      | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 玄関アプローチの周囲に花壇を作成し、季節の花々を植えている。昼間は常に玄関を開放しており、閉塞感を感じさせないよう努力している。          |      |                                  |
| 81                      | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 木のぬくもりが感じられるような設計で、共用空間の天井は高くなっており、居心地の良い空間となっている。                        |      |                                  |
| 82                      | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | 共有空間の和室に炬燵テーブルを設置してあり、憩いの場になっている。テレビを設置し、利用者の皆が楽しめている。                    |      |                                  |

| 項目                      |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ( 印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 83                      | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居の際、使い慣れたなじみの家具を持ち込むようにしている。利用者本人の希望を取り入れた居室レイアウトになっている。                 |      |                                  |
| 84                      | 換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている        | 常に空気が変化するよう、窓やサッシを開放している。一年を通して快適に生活できるよう、居室や共用空間の温度管理を実施している。            |      |                                  |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |  |   |      |                                  |
| 85                      | 身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                 | 利用者のADLに合わせてトイレや洗面所など複数設置しており、個別の身体機能に応じた選択ができるようになっている。                  |      |                                  |
| 86                      | わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                           | ケアプランの方式をセンター方式と包括的自立支援プログラムの良いところを活用して利用者理解を深めている。自立を促す毎日の機能訓練も効果をあげている。 |      |                                  |
| 87                      | 建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                                   | 富士見苑農園を利用者、職員共同で作成し、水遣りなど利用者が自分たちの食材を作るお手伝いをしている満足感を味わって頂いている。            |      |                                  |

| . サービスの成果に関する項目 |  | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 |  |
|-----------------|--|-----------------------|--|
| 項 目             |  |                       |  |
| 88              | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ほぼ全ての利用者の             |  |
|                 |  | 利用者の2/3くらいの           |  |
|                 |  | 利用者の1/3くらいの           |  |
|                 |  | ほとんど掴んでいない            |  |
| 89              | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | 毎日ある                  |  |
|                 |  | 数日に1回程度ある             |  |
|                 |  | たまにある                 |  |
|                 |  | ほとんどない                |  |
| 90              | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ほぼ全ての利用者が             |  |
|                 |  | 利用者の2/3くらいが           |  |
|                 |  | 利用者の1/3くらいが           |  |
|                 |  | ほとんどいない               |  |
| 91              | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ほぼ全ての利用者が             |  |
|                 |  | 利用者の2/3くらいが           |  |
|                 |  | 利用者の1/3くらいが           |  |
|                 |  | ほとんどいない               |  |
| 92              | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ほぼ全ての利用者が             |  |
|                 |  | 利用者の2/3くらいが           |  |
|                 |  | 利用者の1/3くらいが           |  |
|                 |  | ほとんどいない               |  |
| 93              | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ほぼ全ての利用者が             |  |
|                 |  | 利用者の2/3くらいが           |  |
|                 |  | 利用者の1/3くらいが           |  |
|                 |  | ほとんどいない               |  |
| 94              | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている          | ほぼ全ての利用者が             |  |
|                 |  | 利用者の2/3くらいが           |  |
|                 |  | 利用者の1/3くらいが           |  |
|                 |  | ほとんどいない               |  |
| 95              | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と              |  |
|                 |  | 家族の2/3くらいと            |  |
|                 |  | 家族の1/3くらいと            |  |
|                 |  | ほとんどできていない            |  |

【千葉県】グループホーム 富士見苑

| 項 目 |   | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 |             |
|-----|---|-----------------------|-------------|
| 96  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        |                       | ほぼ毎日のように    |
|     |   |                       | 数日に1回程度     |
|     |   |                       | たまに         |
|     |   |                       | ほとんどない      |
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている |                       | 大いに増えている    |
|     |   |                       | 少しずつ増えている   |
|     |   |                       | あまり増えていない   |
|     |   |                       | 全くいない       |
| 98  | 職員は、生き生きと働いている  |                       | ほぼ全ての職員が    |
|     |   |                       | 職員の2/3くらいが  |
|     |   |                       | 職員の1/3くらいが  |
|     |   |                       | ほとんどいない     |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           |                       | ほぼ全ての利用者が   |
|     |   |                       | 利用者の2/3くらいが |
|     |   |                       | 利用者の1/3くらいが |
|     |   |                       | ほとんどいない     |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       |                       | ほぼ全ての家族等が   |
|     |   |                       | 家族等の2/3くらいが |
|     |   |                       | 家族等の1/3くらいが |
|     |   |                       | ほとんどできていない  |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)